

Rotary Club of Engaru, Area 4, RID 2500
遠軽ロータリークラブ
国際ロータリー 第2500地区 第4分区

2014~2015年度
会報 第20号



2014年12月 4日(木) 12:30
本日のプログラム

会員卓話 須藤 順一 会員

2014年12月11日(木) 12:30
次のプログラム

**年次総会 創立55周年関係
ビデオ観賞**

第2708回例会記録

遠軽ロータリークラブ通常例会

司会：遠藤利秀 S A A

日時：2014年11月27日(木) 12:30~
場所：ホテルサンシャイン 2F

☆開会点鐘 上田 稔 君 ☆Rソング「それでこそロータリー」

上田 稔 会長 スローガン：ロータリーとともに輝こう！

会長報告 上田 稔 君

先週は中湧別RCとの合同例会でした。出席者は13名とやや少ない感もありましたが、そば打ちを体験して参りました。「そば打ち」と言っても切って、茹でて、食べるだけでしたが、ほとんどの方が初めてで、良い体験ができたと思います。

又、川村会員のご指導により坐禅を体験して参りました。私共の体力を考慮してか、わずか5分間でしたが、警策(きょうさく)を頂いて、少し背筋が伸びた気がしました。

来年の合同例会は当クラブの担当となりますが、ワカサギをはじめとして、天ぷらを、揚げて食する、という難題をいただいて参りました。来年の担当の方々宜しくお願い致します。

2015~16年度役員、理事の指名者を発表します。

委員長 渡辺 政俊 君
委員 中川 満之 君 金谷 正一 君
木村 一則 君 成田 弘明 君

南会員が会社の定期移動により12月1日付けで深川にご栄転となりました。

平成22年9月16日に入会して頂き、4年75日に亘り当クラブで五大奉仕では2012~13年度の職業奉仕委員長を初め、数々歴任され、その力量を遺憾なく発揮されました。大変お疲れさまでした。

非常に残念ですが、深川に行かれてもお体には十分ご留意され、益々のご活躍を祈念いたします。

幹事報告 黒坂 貴行 君

- 12月6日開催の「ロータリー財団補助金管理セミナー」には上田会長と木村エレクトが出席。
- 国際ロータリー旅行代理店よりサンパウロ大会参加旅行の募集案内、詳細は事務局まで。
- 北光学園、ひまわり学園、そして向陽園より「クリスマスパーティ」案内が来ています。
- 本日、例会終了後に理事会を開催します。



ご挨拶

南 明広 君①

この度、12月1日付で転勤となりました。

平成22年9月に来遠と同時に遠軽ロータリークラブの一員として皆さんには暖かく迎えていただき、約4年間、地区大会やIM、そして今年10月には55周年、と私の人生の大きな思い出として残っています。本当にありがとうございました。

今後も遠軽ロータリークラブの皆様の御健勝と御活躍をお祈りしまして、退会の挨拶とします。

ダグラス・クォール君②

30年前、交換留学生で遠軽RCと皆さん、そして山田サンの家でお世話になりました。いま、クラブの中で知っている人は北野サンだけです。

人と人、国と国、何処でもコネクションができます。ロータリークラブ無くしては出来ないことで、すごくお世話になりました。

今は上海の小学校で教えています。

今回は山田サンのお母さんのお見舞で来ました。

委員会報告

◇親睦活動副委員長 木村 一則 君

- クリスマス家族会は12月18日午後6時より開催します。会費5,000円、3,000円以上のバザー出品、参加等の連絡、提出は家族出席も含め12月11日までお願いします。
- 本日午後6時半より南会員の送別会をピンクページで開催します。

本日のプログラム ゲスト卓話

社会的養護が必要な子どもたち

～児童自立支援施設としての北海道家庭学校～

北海道家庭学校 仁原 正幹 校長



【仁原校長と上田会長】

子どもの権利

- 児童の権利宣言(1959年)
児童は「健康に発育し、かつ成長する権利」及び「適切な栄養、住居、レクリエーション及び医療を与えられる権利」を有する
- 児童の権利に関する条約(1989年制定・1994年批准)
児童が父母、法定保護者または児童を監護する他の者による監護を受けている間において、あらゆる形態の身体的若しくは精神的な暴力、傷害若しくは虐待、放置若しくは怠惰な取扱い、不当な取扱いまたは搾取(性的な虐待を含む)からその児童を保護する

【仁原私見】

- 児童福祉の仕事・役割
→ 子どもの人権を護ること
- 児童虐待 → 子権侵害・親義務違反

矯正と強制

- ◇矯める 曲がっているのを真っ直ぐにする。
また、真っ直ぐなのを曲げる。
- ◇矯正 欠点を直し、正しくすること。
※「歯並びを矯正する」
- ◇矯正教育 犯罪または非行を犯し、またはそのおそれのある者を矯正し、社会の一員として復帰させる教育。(少年院の手法)
- ◇強制 威力・権力で人の自由意思を抑えつけ、無理にさせること。無理強い。
- 子どもの自立支援は、
矯正でも強制でもない(同校理事・家村昭矩)

北海道家庭学校の子ども達

- ◇不幸な子ども達(家庭・他施設から家庭学校に辿り着くまで)
- ①親との愛着形成が十分になされなかった
- ②被虐待経験など悲惨な目に遭ってきた
(体罰・暴力・暴言・衣食住の貧しい生活・性被害・搾取等)
- ③誤解・偏見・仲間外れ
→そうしたことの反動で、反社会的な暴力行為に出たり、暴言を吐いたり、無視したり、あるいは非社会的に自分の殻に閉じこもって不登校の引き籠もり状態になったりしていた。(自尊感情も低くなって自暴自棄になっていた。)

コミュニケーション能力に劣る子ども達

- ・社会的養護の対象になる子ども
中でも特に北海道家庭学校に来る子どもの中には、なかなか人の気持ちがわからない、押し量って感じ取ることができない、いわゆるコミュニケーション能力に劣る子どもが大勢いる。
※被虐待経験や発達障害による精神的な問題が主な原因と考えられる。

人の気持ちがわかる人になろう

- ◇子ども達が将来「社会の一員として自立している」ためには、
→「人の気持ちがわかるようになる」ことが必須の要件。北海道家庭学校で仕事をする施設職員と分校教員、そして、多くのボランティアや実習先の支援者等との心の触れ合いが、「人の気持ちがわかるようになる」ために最も有効なことであり、子ども達にとっての最大の贈り物

ニコニコ

BOX 親睦活動副委員長 木村 一則 君

南 明広君	お世話になりました	5,000円
佐藤直也君	ノーバッジ	2,000円
	合計	7,000円
	累計	321,000円

出席報告 出席委員 佐藤 直也 君

例会日	会員数	出席計算 会員数	出席者数	メイク アップ	出席率	無届欠席
11月19日	34	31	13		41.9%	
11月27日	34	31	24		77.4%	

☆閉会点鐘 上田 稔 君

☆今月会報担当 東海林 勉 君

◆ 〒099-0415
北海道紋別郡遠軽町岩見通南2丁目
遠軽商工会議所内
◆ Tel 0158-42-5201 Fax 42-5134
E-mail info@engaru-rc.com
◆ 例会場
北海道紋別郡遠軽町大通北1丁目
ホテル サンシャイン
Tel 0158-42-1151 Fax 42-1151
/日 毎週木曜日 12:30~13:30
◆ 第3木曜日は夜間例会(18:00~19:00)

会 長 上 田 稔
副 会 長 兼 平 哲
会 長 代 理 木 村 一
幹 事 黒 坂 貴
会 計 島 田 光
S A A 遠 藤 利
直前会長 渡 辺 政

編集・発行 メディア委員会
(担当月)
委員 長 山田 荘一(5・6月)
副委員 長 東海林 勉(11・12月)
委 員 佐久間英昭(7・8月)
遠藤 利秀(9・10月)
伊藤 太一(1・2月)
本吉 春雄(3・4月)